年間授業計画 新様式例

第一商業 高等学校 令和７年度（２学年用） 教科 商業 科目 ソフトウェア活用

教 科： 商業　　科 目： ソフトウェア活用　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A，C，D、E，F組

教科担当者：（ 井原・永井 ）

使用教科書：（「トウェア活用」実教出版、「Excelで学ぶ全商情報処理検定テキスト２級」実教出版、「情報処理検定１・２級模擬試験問題集」実教

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】ビジネスの創造や工夫について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にも続いて創造的に課題解決するカ

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスを創造・工夫する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組

科目 ソフトウェア活用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わるものとして科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようそしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1．企業活動とソフトウェアの活用 2．情報通信ネットワークの活用 3．表計算ソフトウェアの活用	・ソフトウェアの活用 ・ソフトウェアの進化 ・情報数新ネットワークの活用 ・情報資産の保護 ・情報の集計と分析 ・オペレーションズ・リサーチ ・手続きの自動化	・テスト、授業の出席状況や態度･意欲及び課題等の達成状況などを総合的に判断して評価する。 ・提出物、日ごろの授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。	○	○	○	36
2学期	1．検定試験に向けての学習 2．データベースソフトウェアの活用 3．業務処理用ソフトウェアの活用	・合格点を目指す ・ビジネスとデータベース ・データベースの作成と操作 ・手続きの自動化 ・データベースの構造 ・ＳＱＬの操作 ・グループウェアの活用	・テスト、授業の出席状況や態度･意欲及び課題等の達成状況などを総合的に判断して評価する。 ・提出物、日ごろの授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。	○	○	○	42
3学期	1．検定試験に向けての学習 2．情報処理システムの開発	・合格点を目指す ・システム開発の基礎 ・アルゴリズムの基礎 ・情報システムの開発演習	・テスト、授業の出席状況や態度･意欲及び課題等の達成状況などを総合的に判断して評価する。 ・提出物、日ごろの授業に取り組む姿勢をも	○	○	○	27
							合計 105